

森の民話茶屋のキャラクターのおはなし

今から3年前、流行りの感染症で森の民話茶屋がお休みしていた頃のおはなしです。森の民話茶屋の近く、茶屋の森に音楽が大好きなきつねの女の子「おと」と人間の言葉が大好きなたぬきの男の子「こと」が暮らしていました。2人は、人間の姿に化けて森の民話茶屋におはなしを聴きに行ったり、お食事をすることが大好きでした。しかし、今年の春は、いつまで待っても森の民話茶屋がオープンしません。街に降りた2人は、流行り病のせいでお店が開けられなくなっていることを知り、「私たちに病気が移らないから、私たちがお店を再開させよう!」と決めました。賑やかな森の民話茶屋を取り戻すため、開店の準備を始めた2人でしたが「あの民話はどうやって話すんだろう?」「あの美味しいお膳はどうやって作るんだ?」と四苦八苦。



そこで、昔聴いた『狸の太鼓』や『狐の田植え』のおはなしを思い出した2人は楽しい気持ちになって、「森の民話茶屋のメンバーに習いに行ったらどうだべ?」と名案を思いついたのです! さっそく習いに行った2人に、メンバーの国子さんが優しく「心配してくれてありがとう。また始められるように村の人みんなが考えてっからナイ。大丈夫。そしたら遊びに来てナイ。」と言いました。安心した2人は茶屋の森へ帰り、次の春まで待つことにしました。そして次の春、森の民話茶屋にはバンジーが植えられ、賑やかな森の民話茶屋の日常が戻りました。大好きな森の民話茶屋のために頑張った2人は、茶屋の大切なマスコットキャラクターとして、お客様を出迎えています。みなさんも、おと・ことに会いに遊びに来て下さいね。

人の言葉が好きな
たぬきの男の子

こと



店舗情報



OPEN: 土・日 【11月17日まで】
10:30 ~ 14:30

(平日: 12名以上の団体様のみ
利用可です。ご相談ください)

※10月19日(土)は貸し切り営業のため、
ご利用いただけません。ご了承ください。

お食事の数には限りがあります。
事前予約がおすすめです。

☎土・日 0243-24-7410
(森の民話茶屋)

☎平日 0243-24-8096
(大玉村役場産業課)



↑ Google マップ

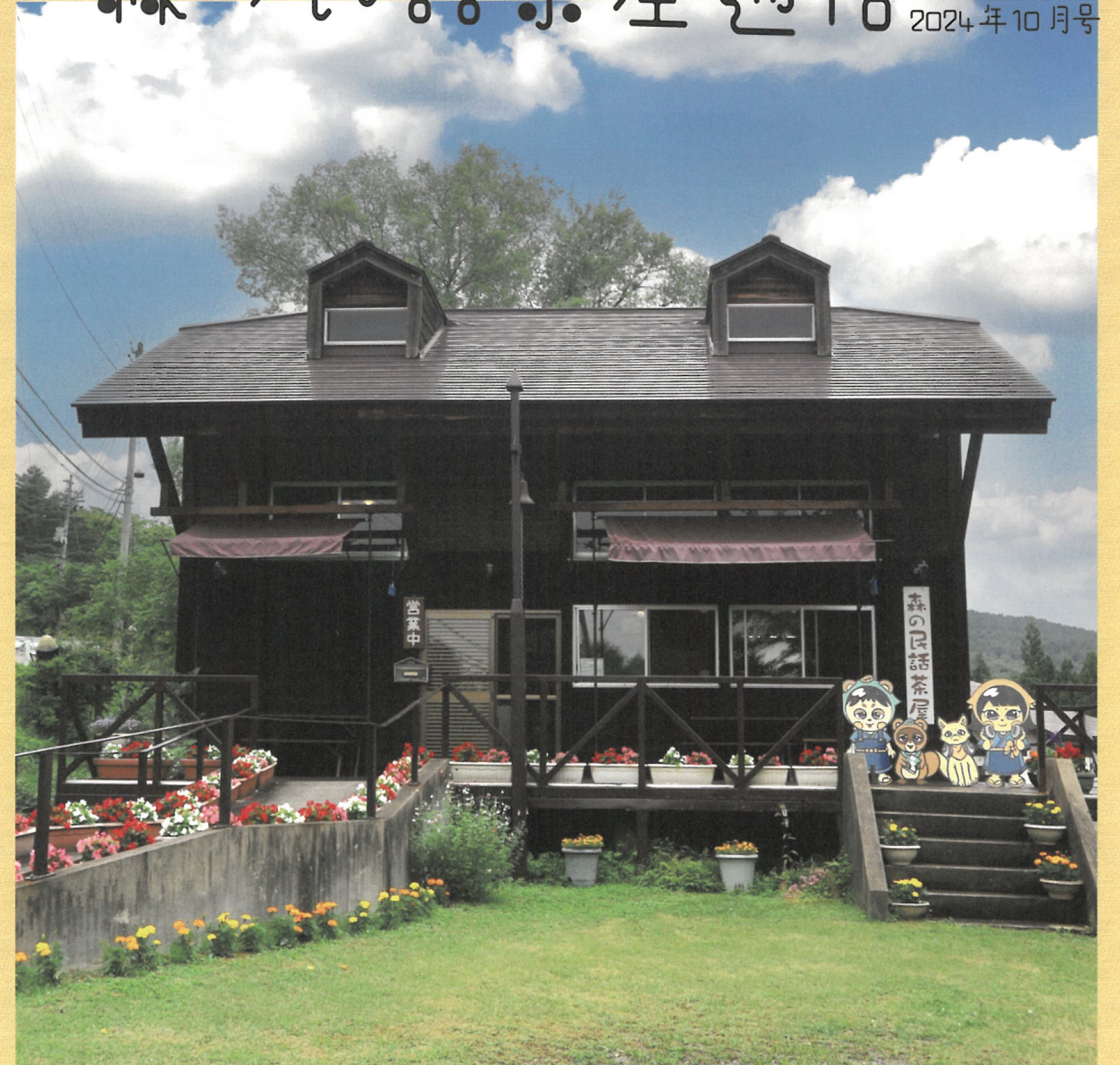


↑ 森の民話茶屋通信
Vol. 1 ~ 22 を見る

ふるさとのお話とふるさとの食をつなぐ

森の民話茶屋通信 Vol. 25

2024年10月号



「身体」と「心」に美味しい食事
森の民話茶屋のこだわりを詰め込みました

—森の民話茶屋運営委員会—

